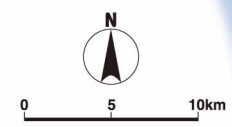


# サロベツ原野

サロベツ原野には JR 豊富駅が下沼駅から入る。車の場合は国道 40 号線か海岸の道道稚内天塩線を利用するのがよい。豊富駅から海岸の稚内までは路線バスが走っている。



## 湿原観察ルート

サロベツ湿原センターから延びる木道は、円山を中心に発達した高層湿原を通る。湿原の泥炭の厚さは、深いところで、5~6m ほどあり、夏には満開のエゾカンゾウが見事であるが、ほかにもヒメシャクナゲ、モウセンゴケ、ツルコケモモなど、高層湿原に特有の地表をほうように生育する植物たちが見られる。また、ノビタキなど草原にすむ鳥も観察できる。

幌延ビジターセンターの前から木道を歩けば、湿原植物のほか、ネムロコウホネやジュンサイなどの水生植物が見られる。鳥は草原で見られる種類のほか、長沼、パンケ沼、パンケ沼と周辺の農地には渡りの時期に多くの水鳥が集まる。



エゾカンゾウ咲くサロベツ湿原

## 海岸砂丘と湿地の地形



静かな砂丘林の沼

サロベツ原野と海の間には、砂丘林が広がる。延長 40km にわたって数列の砂丘が海岸線と平行に並び、砂丘と砂丘の間の低地には湿原と小さな池沼が続く、ほかではあまり見られない景観であり、奥深い原始性を感じることができる。稚内内などから林内に入ることができるが、歩道が不明瞭で迷いやすいため、地元ガイド等と散策することをお勧めしたい。



ネムロコウホネ

## 展望地点

稚内から日本海岸に沿って延びる道道稚内天塩線沿線には、夕来や稚内など、各所により展望の得られる場所がある。また、国立公園区域外であるが、公園の内陸側を通る国道 40 号線沿線にも、豊富町宮の台と幌延町名山台に展望台がある。

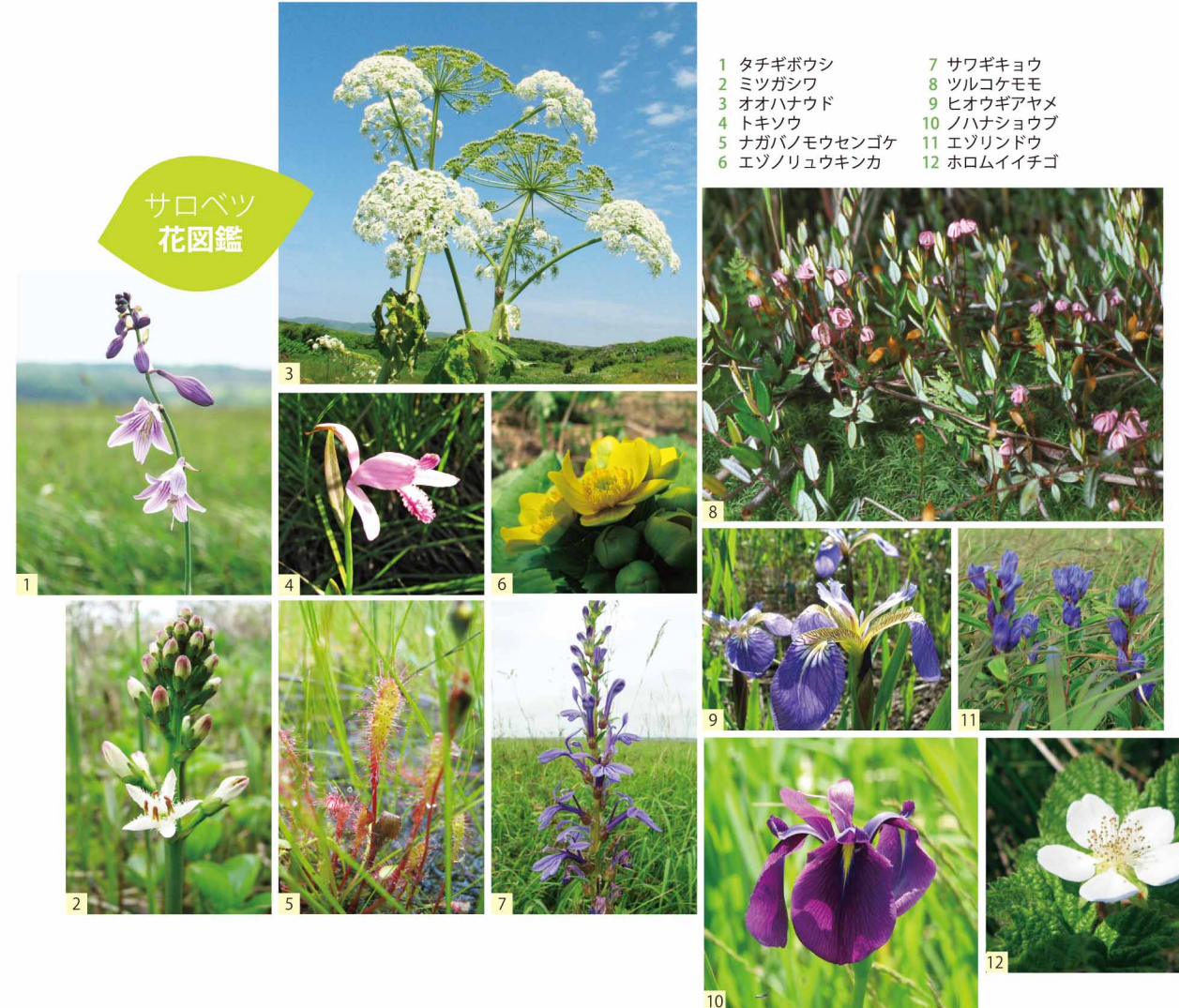


サロベツ海岸からの利尻山



夕来展望地

## サロベツ花図鑑



- |              |            |
|--------------|------------|
| 1 タチギボウシ     | 7 サワギキョウ   |
| 2 ミツガシワ      | 8 ツルコケモモ   |
| 3 オオハナウド     | 9 ヒオウギアヤメ  |
| 4 トキシウ       | 10 ノハナショウブ |
| 5 ナガバノモウセンゴケ | 11 エゾリンドウ  |
| 6 エゾノリュウキンカ  | 12 ホロムイイチゴ |